

令和5年度滋賀県障害者社会参加推進センター事業実施報告書

<目 的>

障害の有無にかかわらず、誰もが家庭や地域で明るく暮らせる社会づくりへ向けて、関係団体・機関の協力の下に、障害者の多種多様な需要の把握から対応までを一本化し、障害者自らによる諸種の社会参加促進施策の体系的、効果・効率的な推進を図り、障害者の地域における自立生活と社会参加を推進することを目的に各種事業を実施した。

<事業内容>

1. 障害者社会参加推進協議会の開催（3回）

構成団体における様々な意見を集約、事業化に向けた検討を進めるほか、事業の推進力を高めるために情報交換などの連携強化策に努めました。

（1）第1回 令和5年4月20日（木）

- ①令和4年度事業報告（案）および決算（案）について
- ②令和5年度障害者理解を深めるための研修会の開催について
- ③令和5年度障害者週間啓発・推進事業の実施について

（2）第2回 令和5年8月31日（木）

- ①令和5年度障害者理解を深めるための研修会の開催について
- ②令和5年度障害者週間啓発・推進事業の実施について

（3）第3回 令和6年2月28日（水）

- ①令和6年度事業計画（案）および予算（案）について

2. 障害者理解を深めるための研修会の開催

県内事業主および従業員等に障害者理解についての啓発を図り、人権と個性を互いに尊重し支えあい、障害者雇用を促進することを目的に開催した。就労を支援している講師のお話やシンポジストによる障害者雇用および合理的配慮の事例発表等、これから障害者雇用に取り組みようとする企業の参考となる内容だったが、企業関係者の参加が少なかった。今後は多くの方が関心を持ち、参加してもらえるよう、さらに内容を検討していく。また、早い時期から周知案内等の協力が得られるよう取り組んでいく。

事業名：「滋賀県障害者差別のない共生社会づくりフォーラム」

日時：令和5年11月9日（木）13：30～16：00

場所：ひこね市文化プラザ エコーホール

内容：第1部 基調講演

「障害者雇用の現状とあり方～誰もが活躍できる社会を～」

講師 （特非）滋賀県社会就労事業振興センター理事長 城 貴志 氏

第2部 シンポジウム

「障害者雇用の取り組みについて」

シンポジスト 宮川バネ工業株式会社代表取締役 宮川 草平 氏
ヤンマーシンビオシス株式会社
滋賀事業部事業部長 太田 光典 氏
コーディネーター (特非) 滋賀県社会就労事業振興センター
理事長 城 貴志 氏

参加者数：75人

3. 障害者週間啓発・推進事業の実施

障害者が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的に、「障害者週間（12月3日～9日）」に向けて実施した。県民に広く周知するため、各関係者等と連携を図りながら、啓発活動および啓発イベントを開催した。次年度は共生社会の実現に向けて、県民により障害者理解が深まるよう地域や団体と連携した取り組みを実施する。

(1) 【啓発活動】

本年度は4年ぶりとなる街頭啓発を実施し、当推進協議会各構成団体の会員や関係者、行政職員等が一丸となり、県内JR主要駅の駅前広場や商業施設の入口付近等で啓発グッズの配布活動を行った。また、街頭啓発の他、県内に広く啓発するため、株式会社平和堂県内各店舗をはじめ、県内図書館等の施設に啓発グッズを設置した。

①街頭啓発

実施日：令和5年11月3日（金祝）、24日（金）～27日（月）、
12月2日（土）

場 所：県内JR主要駅および商業施設等 13か所

内 容：滋賀県障害者差別のない共生社会づくり条例および障害者週間に
啓発するポケットティッシュ8,600個の配布と幟旗の掲示。

参加者数：235人

※実施日時および場所、参加者数等の詳細は、別紙「令和5年度障害者週間
啓発・推進事業実施日時・場所一覧（実績）」のとおり。

②窓口等への設置

障害者週間に向けて、11月下旬から商業施設等や図書館の窓口およびサー
ビスカウンター等にポケットティッシュ8,900個を設置。

場 所：株式会社平和堂県内各店舗 74店舗

滋賀県公共図書館協議会加盟館 24館

第13回ぴかっ t oアート展

滋賀ダイハツアリーナ

滋賀県立アイスアリーナ

滋賀県立障害者福祉センター
滋賀県健康医療福祉部障害福祉課

(2)【啓発イベント】

イオンモール草津において、当推進協議会各構成団体による障害の特徴や活動紹介等のパネル展示の他、障害の疑似体験や福祉用具、車椅子等の体験コーナー等を実施した。

実施日時：令和5年12月2日（土）10：30～16：00

場 所：イオンモール草津 レストランコート

内 容：滋賀県障害者社会参加推進協議会各構成団体による展示。

滋賀県障害者差別のない共生社会づくり条例および障害者週間を啓発するポケットティッシュ2,500個の配布とのぼり旗の掲示。体験コーナー等の実施。

①パネル展示・チラシの設置・・・14団体

②体験コーナー等

・ ストーマモデルの展示

（日本オストミー協会滋賀県支部）

・ 小さな福祉用具の展示・体験

（滋賀県社会福祉協議会）

・ 聴覚障害者のコミュニケーション

（滋賀県聴覚障害者福祉協会）

・ 競技用車いす体験

（滋賀県身体障害者福祉協会）

・ 点字で名前を書いてみよう

（滋賀県視覚障害者福祉協会）

・ 知的障がい・発達障がい疑似体験

（滋賀県手をつなぐ育成会）

・ 県イメージキャラクター「キャッフィー」との写真撮影

（滋賀県健康医療福祉部障害福祉課）

来場者数：延べ326人

参加者数：40人

4. 障害者差別解消法に係る相談窓口の設置

県における障害者差別解消法に係る相談窓口として、差別や合理的配慮等に関する相談に対応し、必要に応じて適切な機関に引き継いだ。

相談件数2件

5. 第38回障害者による書道・写真全国コンテストの作品募集

全国障害者総合福祉センター（戸山サンライズ）が実施する「障害者による書道・写真全国コンテストの作品募集と出品事業を行ったところ、昨年を上回る107点の応募があった。

募集期間：令和5年7月28日（金）～9月15日（金）

募集内容：（1）書道部門・・・題材は自由

（2）写真部門・・・フリーの部、ポートレートの部、携帯フォトの部

応募総数：107点

（内訳：書道部門94点、写真部門13点）

※全国からの応募総数は1,174点

（内訳：書道部門941点、写真部門233点）

結果：（1）書道部門・・・銀賞1点、銅賞1点

（2）写真部門・・・金賞1点、銅賞1点、携帯フォト入賞1点

6. 「滋賀県障害者社会参加推進センター」ホームページの充実

障害者社会参加推進協議会所属の各構成団体から発信される情報をホームページに掲載するとともに、リンクを貼るなどして、障害者の社会参加推進に向けて、発信力の充実・強化に努めた。

7. 障害者の社会参加にかかる各種研修会等の情報提供

各構成団体に対し、関係機関・団体等が開催する障害者の社会参加にかかる各種研修会等の情報提供を図った。

8. その他障害者の社会参加推進のために必要な事業・事務の実施

その他障害者の社会参加推進のための事業の実施について、必要に応じて障害者社会参加推進協議会所属の各団体に対し、情報提供を図った。